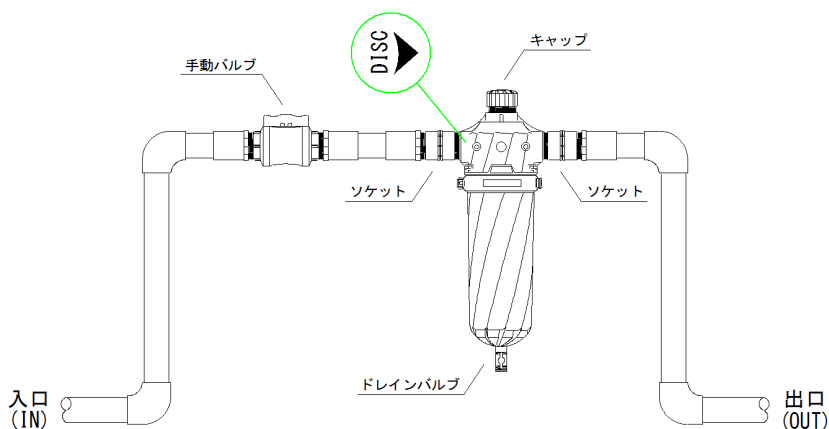


設置方法

- ・ ディスクフィルター本体にある DISC の矢印に従って設置してください。
- ・ 本体の取付には、ネジ山を壊さないように付属の継手を利用してください。
- ・ メンテナンス時に、カバーを外して清掃等を行いますので取付の際は、カバーを外せるように余裕を持って設置してください。
- ・ 凍結の恐れがある場合は、ドレインバルブを開けフィルター内の水を抜いてください。

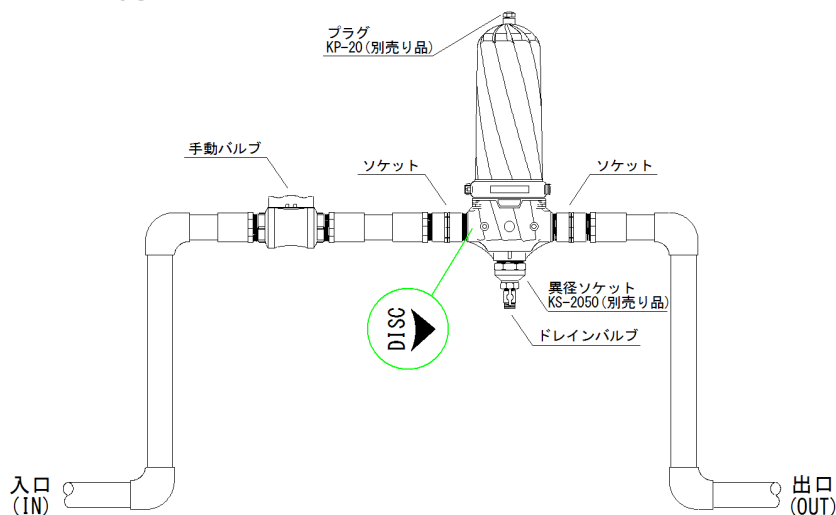
■標準取付例



付属品を使用した標準取付図になっております。

※手動バルブは付属品ではありません。

■逆さ方向取付例

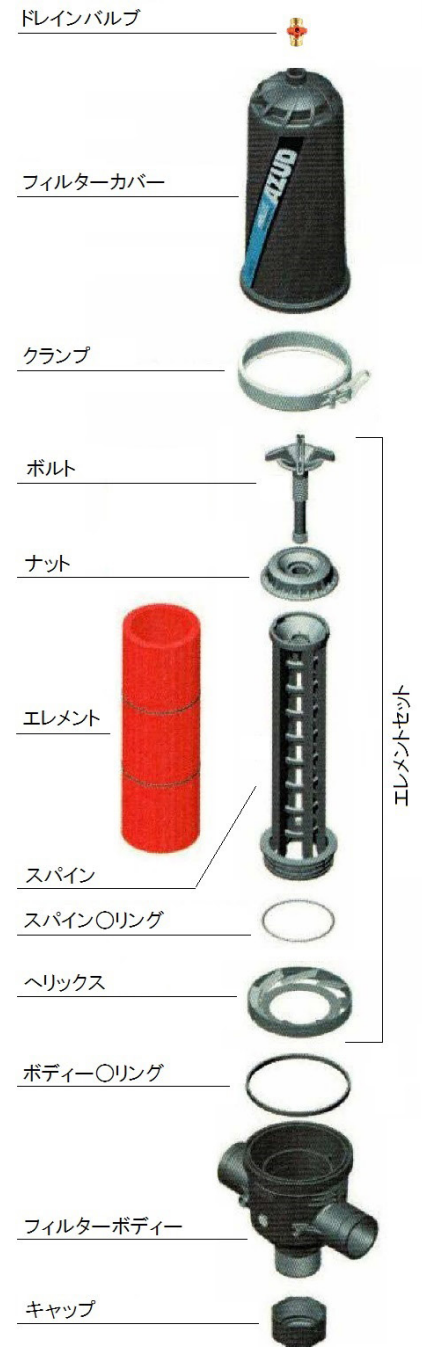


逆さ方向取付図になります。

逆さ取付の場合は、ドレインバルブを下方向に取り付ける必要があるため
付属品とは別に異径ソケットとプラグが必要となります。

※手動バルブは付属品ではありません。

1. 必ず入口側のバルブを閉めてからドレインバルブを開け、フィルター内部の圧力が完全に抜けたのを確認してから、作業を始めてください。
2. ドレインバルブを開けて、フィルター内部の水をすべて排水して下さい。
3. フィルターの中央にあるクランプの止め金を外してください。
4. フィルターカバーとクランプを取り外します。この時、ボディーに付いているOリングをなくさないようにして下さい。エレメントセットをフィルターボディーからひきぬいて、取り外して下さい。
5. エレメントセットのボルトをゆるめて、ボルトを延ばします。
6. ディスクの集合体（エレメント）がバラバラになったら、清水の中に浸け洗いをするか、清水をかけてゴミを洗い流して下さい。
7. ゴミがしつこい場合は、タワシや歯ブラシ等で取り除いて下さい。
8. ディスクがキレイになったらボルトを元に戻し、手で回しながら締めて下さい。
9. 外した時と逆の手順で、フィルターボディーにエレメントセットを差し込んで、受け側の溝にしっかり収まるように取り付けてください。フィルターカバーをはめ、最後にクランプをはめて止め金を締めて下さい。



ディスクエレメントの溝に付着した藻類等の有機物や鉄分の除去方法

清水での漬け洗いで落ちづらい残留物などについては、塩酸による薬品処理である程度除去することが可能です。薬局にて市販の希塩酸を5%濃度に薄めた溶液に、ディスクエレメントを半日程度浸した後、清水でよく洗い流して下さい。

《危険》

取扱には十分な注意が必要ですので、薬品取扱者の指示にしたがって使用して下さい。